

公益社団法人 日本技術士会中部本部 電気電子情報工学部会

9月度例会のご案内

【主催】中部本部 電気電子情報工学部会

当部会では、定期的に例会(講演会、オンライン講演会、見学会)を実施しており、今回9月度の例会を下記のように企画しましたのでご案内申し上げます。

今回は、新たに電気電子情報工学部会の会員となられた先生方から、技術士事務所で日々活躍している先生方まで、幅広い分野で4つの講演を予定しております。中部本部 電気電子情報工学部会の会員に限らず、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

1. **日時** :令和7年9月27日(土) 13:30~16:45
2. **場所** :技術士会 中部本部 会議室 (定員20名まで)、およびTeamsによるハイブリッド講演会
・技術士会 中部本部 会議室 :名古屋市市中村区名駅五丁目4番14号 花車ビル北館6階
(地下鉄 国際センター駅下車、泥江交差点角、JR名古屋駅からユニモールを徒歩10分位)
・Teams参加者には9月25日(木)以降にTeams参加URLをお送りします。
3. **プログラム** :
 - 13:00~13:30 中部本部会議室受付 (Teams 受付は13:20から)
 - 13:30~13:35 開会、伝達事項
 - 13:35~13:40 開会の挨拶
 - 13:40~14:10 講演1:各種技術トピックご紹介
講演者:佐藤雄志(シンフォニアテクノロジー株式会社)
 - 14:10~14:40 講演2:モータ量産における絶縁品質担保への取り組み
講演者:岩本 裕嗣 氏(トヨタ自動車株式会社 品質管理部)
 - 14:40~15:00 休憩
 - 15:00~15:30 講演3:なんとなくわかった気になるモバイル通信の話
講演者:丸山聡 氏(SatLab 技術士事務所)
 - 15:30~16:30 講演4:電力品質(Power Quality)と関連した電源ノイズ対策について
講演者:長嶋 洋一 氏(ASL 長嶋技術士事務所)
 - 16:30~16:45 閉会の挨拶、連絡事項等
 - 17:00~18:30 交流会(会議室参加で希望者のみ 会費:4,000円、場所:みの路 名駅店)

4. 参加費用:

技術士会会員、中部エレクトロニクス振興会会員会社の方:1,000円

学生(社会人学生および技術士(補)でない方):無料

一般(会員外):2,000円

5. 申し込み方法

9月24日(水)までに、下記のWebフォームからお願い致します。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02xtd199jsm41.html>

会議室参加は定員(20名)になり次第、受付を終了します。

6. キャンセル方法

キャンセルする場合は、メール:DIB_uketsuke@googlegroups.com

当日の緊急連絡は携帯:090-8548-3842(岡崎)迄連絡ください。

但し、交流会に関しては2日前がキャンセル期限です。前日、当日のキャンセルはできませんのでご了承願います。

欠席された場合は、交流会費を請求させていただきますのでご了承ください。

【講師のご経歴と講演概要】

講演1 佐藤 雄志(電気電子部門)

【ご略歴】

1967年10月 愛知県名古屋市 出生

1988年3月 国立豊田工業高等専門学校 電気工学科 卒業

1992年3月 三重大学大学院 工学研究科 修士課程 電気工学専攻 修了

1992年4月 神鋼電機株式会社(現シンフォニアテクノロジー株式会社)入社

・1992年 10月~ 開発本部勤務

【周りが機械技術者の中での電気技術者】

・2009年 1月~ 電精技術部制御機器Gr(現MC技術部制御Gr)

【電気技術者として、各種電装品の設計・開発】

【講演概要】

1)開発本部勤務時に各種技術検討した際のトピック紹介

・OPアンプのハイゲイン設定時の簡易設計方策(四端子定数を利用)

・機械系と電気系のアナロジーの利用(共振回路、分布定数回路)

2)技術部勤務の中からのトピック紹介

・用途による電装品回路設計の違い

講演2 岩本 裕嗣 氏(電気電子部門)

【ご略歴】

1980年11月生(44歳) 茨城県出身
2003年3月 龍谷大学 機械システム工学科卒
2003年4月 トヨタ自動車株式会社 入社
2004年1月 生産技術部 第2世代HEV用モータ、絶縁樹脂生産技術担当
2006年1月 品質管理部 初代～第3世代HEV用モータ、量産、市場品質管理担当
2009年1月 生産技術部 第4世代HEV用モータ、絶縁樹脂塗布工法開発担当
2014年1月 品質管理部 第4世代HEV用モータw/トランスミッション量産品質管理担当
2018年1月 品質管理部 TMMP(Toyota Motor Manufacturing Poland Sp.zo.o)にて
第4世代HEV用モータw/トランスミッションの品質管理業務支援担当
2019年1月 品質管理部 第5世代HEV用モータw/トランスミッション量産品質管理グループマネージャー
2024年1月 品質管理部 BEV用モータw/トランスミッション品質管理担当

現在に至る

【講演概要】

HEVの普及やEVの量産化に伴い年々需要が増加している自動車駆動用モータは、搭載制約や銅、希土類の資源抑制の観点から小型化が進んでおり世代を追うごとに絶縁材の使用量は低減されてきています。一方、小型高回転化、銅損低減、バッテリー搭載容量増加といった理由から駆動システムは高電圧化が進み、高電圧化と絶縁材薄肉化のトレードオフにおいて量産時の絶縁保証手法の重要度は増してきています。今回はモータの量産における絶縁品質担保の課題に取り組んだ内容を説明させていただきます。

講演3 丸山 聡 氏 技術士(電気電子部門)

【ご略歴】

1985年 富士通株式会社 入社
・入社以来無線通信関連の開発、システムエンジニアリングに従事
マイクロ波多重無線システム、携帯電話システム、高効率送信アンプ など
2021年 富士通株式会社 退社
2021年 SatLab 技術士事務所 設立
・技術コンサルタント
無線通信関連、プロジェクトマネジメント など

【講演概要】

・自己紹介
私が無線に興味をもったきっかけと無線に抱くロマン
・携帯電話システムの世代の違い(アナログ~5G)
なんとなくわかった気になるモバイル通信の話

講演4 長嶋 洋一 氏(電気電子部門)

【ご略歴】

- 1958年5月 茨城県に生まれる
- 1981年3月 京都大学理学部(素粒子物理)卒業
- 1981年4月 (株)河合楽器製作所 入社 (→1993年1月に退職、独立)
- 1991年3月 技術士(情報工学部門)
- 1991年4月 ASL(Art & Science Laboratory)長嶋技術士事務所 (→現在まで)
- 1992年3月 技術士(電気電子部門)
- 2000年4月 静岡文化芸術大学 デザイン学部 (兼職。開学2年前からカリキュラム構築)
- 2004年4月 静岡文化芸術大学 大学院デザイン研究科
- 2020年3月 京都市立芸術大学 大学院博士後期課程 修了 (→Ph.D[Media Art])
- 2024年3月 静岡文化芸術大学 退職 (→名誉教授)

【講演概要】

7月研究会「パワーエレクトロニクス技術の発展と動向」(竹下隆晴氏)の講演後の質疑で、同氏が「いくら技術が進展してもノイズ対策は永遠の課題」と指摘されたのを受けて、世界的に注目されている「電力品質(Power Quality)」の話題提供と、関連した電源ノイズ対策について話題提供いたします。

あらゆる領域の電源がインバータ化された事で起きる機器の誤作動やラインストップというトラブル対策(信頼性技術)だけでなく、AIを支えるDC(Data Center)の巨大電力消費を必要とする現代においては、温暖化防止とコスト低減のためにPower Qualityへの考慮が必須となってきました。米国でのPQ展示会の模様やEP社 (<https://ep2000.com/>)での事例とともに、古くて新しい「電源ノイズ」について問題提起いたします。

以上